

## クロルフタリム

### (1) 装置

紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフィーを用いる。

### (2) 試薬試液

アセトニトリル：高速液体クロマトグラフ用又はこれと同等のもの

水：蒸留水又は精製水

クロルフタリム標準品

### (3) 試験溶液の調製

試料 100 mL に、等量のアセトニトリルを加え混合した後、一部を遠心分離（1000 rpm、800 g x 5 分間、20℃）し、上澄み液を試験溶液とする。

### (4) 高速液体クロマトグラフ操作条件

カラム : 内径 4.6 mm、長さ 150 mm のオクタデシル化シリカゲル充填カラム  
又はこれと同等の分離性能を有するものを用いる。

移動相 : アセトニトリル：イオン交換水 = 80：20 (v/v)

カラム温度 : 40℃

流速 : 1.0 mL/min

注入量 : 100 μL

検出波長 : 230 nm

感度 : クロルフタリムの 0.2 ng が十分確認できるよう感度を調整する

### (5) 検量線の作成

クロルフタリム標準品より 0.00100~0.150 μg/mL のアセトニトリル溶液を数点調製し、それぞれ 100 μL ずつ液体クロマトグラフに注入し、ピーク面積を測定し検量線を作成する。

### (6) 定量試験

試験溶液から 100 μL ずつ取り、液体クロマトグラフに注入し、(5)の検量線によりクロルフタリムの重量を求め、これに基づき試料中のクロルフタリム濃度を算出する。